

＝ 普 及 情 報 ＝

No. 2

令和8年6月29日

東部農林水産振興センター出雲事務所農業部

標 題	宍道湖西岸地区でタマネギの機械収穫作業見学会を開催 －収量の安定と省力化を実証－
-----	---

(ダイジェスト)

令和8年6月12日、宍道湖西岸地区の暗きよ設置済みほ場において、タマネギの機械収穫作業見学会が開催されました。生産者の皆さんに省力化を実感いただけました。中生品種では、反収5t以上を達成しました。今後も安定した収量の確保と栽培面積の拡大を目指していきます。

宍道湖西岸地区は、国営緊急農地再編整備事業により安定した営農環境の整備が図られつつあります。当農業部は、地域の生産者と連携しながら、排水対策と栽培管理の指導を継続して実施しています。

このたび、機械による作業効率の高さを広く知っていただくために、国営事業営農促進部会が農業農村整備スタッフと連携して、収穫作業の実演会を開催しました。当日は、地域の生産者や関係機関約50名が参加されました。

当農業部からは、これまでの栽培ポイント、特に形状や寸法など精度高い畝立てが重要であることを説明しました。

今回、湿田に悩まされていた当地区において、反収5t以上の高収量を実証し、生産者に対して機械化栽培体系による省力化を実感してもらうことができたことから、今後は、経済性も含めて整理し、生産面積の拡大を目指していきます。



オニオンハーベスタ
による収穫